

2015春季講演会(東海大)シンポジウム

シンポジウムの主題(全体テーマ名)

日本語	クルマ社会の未来を支えるセンシング技術 ～自動運転システムの展望と課題～
英語(必須)	Sensing Technologies for the Future of Automobile Society ～The Prospect and Challenge of Autonomous Driving System～

世話人

	氏名	所属	
1	町田克之	NTT-AT	
2	有本和民	岡山県立大学	
3	松浦正純	ルネサスエレクトロニクス	
4	土屋智由	京都大学	
5	佐々木実	豊田工業大学	
6	年吉 洋	東京大学	
7	森村浩季	NTT	

5.企画の趣旨および内容説明□

下記項目などを含め、1500文字以内でご記入ください。シンポジウムの採択の審査に使用いたします。□

半導体の関連研究会と集積化MEMS技術研究会の共催により、クルマ社会の未来を支えるセンシング技術の現状と今後への展望を踏まえて議論できるシンポジウムを企画しました。昨年度は、自動車搭載デバイスの展望と課題についてシンポジウムを開催し、200名以上の来場者で盛況でありました。今年度のシンポジウムの構成としては、招待講演を4件、一般講演を4件想定しています。招待講演の内容としては、クルマ社会を大きく変革するであろう自動運転及び高度運転者支援システムに関して、自動運転が引き起こすクルマ社会のイノベーション、自動運転の実用化に向けての展望と課題、キーデバイスである車載用イメージセンシング技術について、業界の著名な方に講演を御願ひする予定です。